

3. 再整備の方針

① 再整備に向けた視点と配慮すべき事項

関連事業・計画における勾当台公園の位置づけ、勾当台公園の現況特性等を踏まえ、再整備に向けて配慮すべき事項を整理した。

◇関連事業・計画 / 勾当台公園の現況

関連施策の中で必要となる視点	
<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市基本計画 ・仙台市みどりの基本計画 ・本庁舎建替 ・定禅寺通活性化 ・せんたい都心再構築プロジェクト 等	<p>【場・空間・機能として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杜の都を象徴する文化交流の場 ・多くの人が集う、魅力ある都市空間 ・「緑の回廊」の連続性・グリーンインフラ推進 ・防災環境機能 <p>【利用・過ごす時間・体験として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定禅寺通・勾当台通を歩いて楽しむ ・就業者と居住者が行き交う日常的な賑わい ・まちづくりの歴史でもあるイベント等の市民活動

【勾当台・定禅寺通エリアビジョン】

「交流」と「ゆとり」を
楽しむところ
みんなで育む
“仙台の庭”

勾当台・定禅寺エリアの中心部としての役割

“交流”と“ゆとり”の2つの軸が交差する市民活動を象徴する空間

- ①多くの人が気軽に立ち寄り、多彩な活動に触れられる公共空間
- ②新庁舎と定禅寺通が連続したシームレスな利活用空間
- ③文化芸術・市民活動、各種イベント開催の公民協働の活動空間

再整備に向けた視点	
①歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・勾当台通の直線化等の公園整備の履歴の継承、象徴するヒマラヤシーダーの保全 ・「養賢堂」「四ツ谷用水」などの歴史的資源、歴史的なモニュメント、古図広場の保全・活用
②用途地域・交通等	<ul style="list-style-type: none"> ・優れたアクセス環境を活用した交通施設（地下鉄、路線バス）と公園内の通行連続性の確保 ・仙台駅から定禅寺通を結ぶまちなかウォークアブル空間形成への寄与
③公園・緑地・街路樹	<ul style="list-style-type: none"> ・定禅寺通で結ばれている西公園・錦町公園との機能のすみわけ、連携 ・定禅寺通や勾当台通等とのみどりの連続性のある景観
④自然環境（地形・植栽）	<ul style="list-style-type: none"> ・河岸段丘の形跡である高低差による景観変化の活用、連なった樹木による景観軸の保全 ・定禅寺通・勾当台通の街路樹、県庁前の緑地と連続した緑のオープンスペースとしての保全・形成 ・成長した樹木、林床を整えて、開放感と見通しの確保
⑤景観	<ul style="list-style-type: none"> ・定禅寺通・勾当台通の緑の景観軸（歩道空間）と公園との一体的な景観づくり ・公園外周部の官庁建物・オフィスの足元を和らげている樹木の保全・形成 ・いこいの広場上段部からの眺望、主要動線からの移動景観、視点場からの景観保全と活用
⑥公園施設	<ul style="list-style-type: none"> ・野外音楽堂、売店、市民広場ステージ、古図広場など各種施設の計画的な機能維持・更新 ・広場（溜まり）と通行帯（通路）の機能的再配置 ・彫刻・モニュメントの保全、ベンチ・照明施設などの統一したデザイン ・壁泉・水路の保全・改良と、公園内主要動線軸の形成
⑦利用（日常、イベント）	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内の3つ広場の空間利用イメージ（ターゲット、機能）のすみわけ、連携 ・近隣オフィス就業者、商業施設来訪者の通行・休息空間の確保 ・イベント利用の実績を踏まえた多様な利用が可能な空間連携と屋外設備の充実
⑧動線アクセス手段	<ul style="list-style-type: none"> ・定禅寺通・一番町四丁目商店街からのアクセスの確保、回遊性の確保 ・公共交通・駐車場・レンタサイクルなど多様な交通手段の活用 ・高低差や階段等に対するバリアフリー対応
⑨防災	<ul style="list-style-type: none"> ・防災時に対応した空間としての機能確保について

◇勾当台公園の特性

- ・3つの広場の機能連携と立地特性に応じた利活用
- ・公園整備の歴史・文化の保存と継承
- ・市民が集うイベント広場としての利活用の維持・発展
- ・徒歩で回遊できるアクセス性、交通結節点としての機能の活用
- ・防災機能の確保

◇公園施設の機能充実・更新

- ・まとまりのある広場空間の確保と適切な通行空間の連携配置
- ・樹木の生育環境の改善、老朽施設の修繕・リニューアル
- ・歩行空間の快適性・安全性・バリアフリーの確保
- ・グリーンインフラとしての機能形成

◇公園運営

- ・情報発信機能の向上
- ・官民連携(PPP)等の導入
- ・多様な主体が協働するパークマネジメントの導入
- ・周辺施設との一体的なマネジメントに関する検討
- ・ブランディング